

社長のひとりごと【高齢者住宅】

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ



私は『寮長さん』でしたね。

アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

- asahiglobal.co.jp
- global-mie.co.jp
- super-chintai.com
- agg-hd.co.jp
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com

さて、介護も受けられる、看護も受けられる、高齢者専用賃貸住宅の『ゴールドエイジ・マンション』は、私の『寮生活』が基本になっています。私は高校(麗澤高校・レイタク)の3年間は岐阜県瑞浪市(ミズナミ)で、大学の4年間は千葉県柏市で、合計7年間の『寮生活』をいたしました。そして高校でも大学でも『寮長さん』で60人、70人の下級生のお世話をしていましたね。大変でしたが、一言で言うて、今思うと『最高に楽しい7年間』でした。

同じ様な年齢で、いっしょに生活するのは、食事をしたり、お風呂に入ったり。話し合ったり、時には喧嘩したり…。ずっと二つ屋根の下で生活するのは、友達もできますし、意見の違う人達でも少し遠慮したりして、仲良く生活しなければなりません。酒を飲んだり、あべれたりもしましたが、皆んなで責任をもつて、協力し合って楽しく生活することを勉強させていただきましたね。

ひつこいですが『私が寮長さん』です。そんな皆んなを調整しながらまとめる仕事は、難しいのですが、それが私のその後の人生に大変に役

に立ちました。三重県四日市市の中学(暁中学)を出て、すぐに親元を離れて15才で寮に入りましたから、おばあちゃん子のわがままで、甘えっ子の私の人生は、ここから始まったと言えますね。

大変な苦勞をしました。何回も寮を逃げ出して家に帰ろうと考えました。実際に逃げ出して、家に帰った同級生は一人や二人ではありません。全員家に帰りたいと考えていたのではないのでしょうか。『ゴールドエイジ』に入居して3ヶ月から6ヶ月間ぐらいは、不安で落ち着きませんね。それは若くても、高齢者でも同じです。環境に慣れるまでは誰でも不安で、逃げ出したくなるんですね。私も全く同じでした。

しかし『住めば都』ですし、『遠くの親戚より近くの他人』です。だんだん寮生活が楽しくなってきたのが、1年ぐらいたってからでしょうか…。もうそれからは、私は家に帰りたくなくなりましたね。それだけ同年齢で気心の知れた、友達がたくさんいる寮での生活が楽しくなっていました。

いい事ばかりではありません。喧

嘩したり、反抗したり、人の悪口を言ったり、もめ事もたくさんあるのです。しかし楽しかったですね。

まあ、と言う事で私はそれが忘れられなくて、国が高齢者の住宅の法律を作った5年前に、『高齢者の寮生活』をやるうと決心しました。そしてこの『ゴールドエイジ』を全国に12棟も建設したのです。

理想に燃えて始めた事業ですが苦勞は付きものですから、理想を実現するのは並大抵ではありませんね。しかし私はゴールドエイジの『寮長さん』ですから、これからも全力で努力して『寮生』である『高齢者』が、まあ色々問題もあるけど、ここについて『良かったね』『楽しいね』と喜んでいただけるように早くしたいと願っています。

人生とはおもしろいものです。何のご縁か分かりませんが、ゴールドエイジに入居していただいて、私、寮長さんの経営もまだまだ未熟でご不満もたくさんあるでしょう。しかし多くの皆さんが、ヘルパーに感謝して優しくしていただいて、楽しんで生活していますね。

お礼を申し上げます。ありがとうございます。感謝。感謝です。